



気候変動の基礎知識

- ・異常気象(30年に一度偶発的な発生)と気候変動とは違う
- ・人間活動が原因のCO2排出が主原因であり、加速化させる

気候変動により起こり得ること

- ①海面上昇 ②砂漠化 ③森林火災 ④水不足・食糧危機
- ⑤穀物生産への被害 ⑥極端な気象 ⑦気候難民発生
- ⑧新たなウイルス ⑨戦争紛争の増大 ⑩海水の酸性化
- ⑪熱波による死者増大 ⑫豪雨による・川の氾濫・山の崩壊

脱炭素社会を実現させないと、早ければ2030年前に臨界

今年の世界大会での「平和と地球環境をまもる」の武本匡弘さんの発言に「もっと環境のことを知りたい」との声が寄せられ実現した学習会。約20名の参加でした。脱炭素社会を実現しないと、早ければ2030年前に「臨界」を迎えるかもしれないとお話は、40年間海に潜って見てきたことですから、参加者には衝撃をもって受け止められました。「戦争は、じわじわと少しずつ法律や人の考え方やそういうものが変化してきて、ある時点で「勃発」となりますが、環境破壊もじわじわ変化して進んできたものが、ある時点で一気に「臨界」というものに達するのだと想像したとか、「気候危機が想像以上に深刻化していること」「日本も気候危機が進行化していることに危機感を覚えた、」「しかし、日本はまだ環境対策が十分ではないことに驚愕しました。ペットボトルなどのリサイクルは、世界基準では認められていないサーマルリサイクルが多くを占めており、遅れていることは周りに広げないといけないと思った。」との感想が寄せられています。

また、この環境の状態を「大元の企業や組織のトップにもしっかり見せた方がいいのでは」、「もっと沢山の人間にこの事実に関心を持ってもらう活動が必要」「人は色々なトラウマがあり色々な正義があって国を良くしようと人生かけた人達がたくさんいると思う。今この環境をとんでもない事、良くないことという簡単に言うだけでなく私も活動しようと思いました。」などの意見も寄せられました。原水協が環境問題での学習会は初めてでしたが、若い人の参加もありました。「気候と核の惨事」が「人類を脅かす2つの危険」であることが理解された学習会になったようです。講演録画はあります。武本さんお勧めですので学習会などで活用される方はご連絡ください。



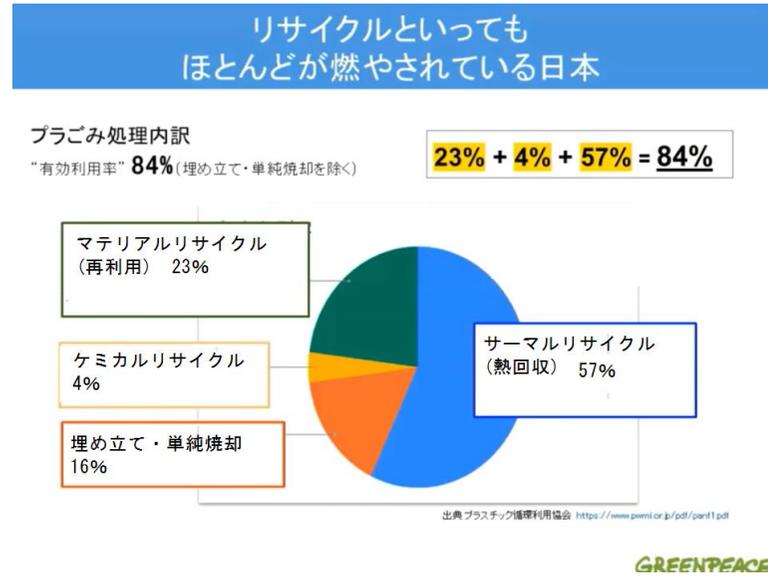
アメリカが核実験を行ったエニウエトク。実験で空いた穴に核廃棄物を入れ、セメントで固めているがひび割れなど劣化が激しい。温暖化による水位の上昇で施設が水没しかねない状況だ。



太平洋はゴミだらけ。写真は採取したマイクロプラスチック。微細な化学繊維も検出できる。「プラスチックスープ」の状態だという。海面近くを漂うのは2割だという。

気候変動と海洋プラスチック問題は同じ問題(別だとは考えない)

- ・プラスチックは、作ってもリサイクルしても大量のCO2(二酸化炭素)を出すので、気候変動温暖化の原因の一つ。
- ・また、プラスチックは、太陽光や海水によって劣化が進む過程で、温室効果ガス(メタン・エチレンなど)を大量に出す。
- ・プラスチック製品を作ってしまうと将来の世代のつけになる。



読者のみなさんへお願い。「原水協通信」普及にご協力下さい。

核兵器廃絶、核戦争阻止、被爆者援護・連帯の問題で草の根と世界を結ぶ原水爆禁止運動がしっかりと学べる機関紙です。10月24日核兵器禁止条約に50か国が批准し、2021年1月22日発効することとなりました。広島・長崎の被爆者、世界の圧倒的多数の政府と市民社会が共同して実現した画期的成果であり、人類は、国連総会の第1号決議(1946年1月)が原子兵器の撤廃[※]提起して以来、初めて核兵器を違法とする国際法を手にするところになってきています。

国連、諸国政府、市民社会の果たす役割はますます大きくなっています。その共同の力となる「原水協通信」です。年間購読料 2640円。

